

令和2年度第1回 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会 会議録

1 開催日時

令和2年5月18日（月） 午後2時～午後3時20分

2 開催場所

花巻市石鳥谷町八幡第4地割161番地
花巻市石鳥谷総合支所 3階 3-2・3-3 会議室

3 出席者

(1) 委員 6名

中村良幸委員長（花巻市文化財保護審議会委員）
中嶋奈津子副委員長（佛教大学非常勤講師、日本民俗学会会員）
菊池康一委員（早池峰岳流石鳩岡神楽保存会会長）
吉田隆一委員（早池峰大償流土沢神楽保存会会長）
小原伸博委員（花巻市博物館学芸係長）

(2) オブザーバー 1名

須川翼 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課文化財担当主事

(3) 事務局（教育部文化財課）4名

平野克則文化財課長
柳原光浩文化財課課長補佐
伊藤真紀子文化財課文化財係長
佐々木はるか文化財課文化財係主事

4 議題

(1) 令和2年度事業計画について

(2) その他

5 議事録

(1) 開会（進行：柳原課長補佐）

(2) 挨拶

平野課長： 本日はお忙しいところ、今年度最初の調査委員会に、委員の皆様、そして県教育委員会の須川さんにも御出席をいただき、誠にありがとうございます。

本来ですと、佐藤教育長が参り、委嘱状をお渡しし、挨拶するところですが、会議が立て込んでおり、出席することができませんので、代わって挨拶をいたします。

石鳩岡・土沢の両神楽の調査につきましては、平成27年度より委員皆様の御協力のもと、調査資料収集そして原稿執筆までの一連の作業を進めていただき、3月に調査報告書を刊行することができました。

刊行に合わせ、本日のような委員会を開催し、感謝を申し上げ、ご慰労するところでありましたが、新型コロナウイルスのためそのような機会を設けることができず、大変申し訳なく思っております。

昨年度まで行いました調査は、報告書の刊行により一応終了し、今年度からはいよいよ映像記録の作成となります。映像の収録は、保存会の会員皆様の全面的なご協力なくして収録することはできません。今年は、新型コロナウイルスの影響により、行事等の予定が立たない部分もありますが工夫しながら収録し、可能な範囲で多くの演目を撮っていきたいと考えております。

本日の委員会は、映像記録作成にあたり、基本的な事項を決めるとともに、今年の収録計画についてご協議いただきますので、よろしく願います。

(3) 委員長、副委員長の選任

柳原補佐：それでは次第の3、委員長、副委員長の選任を行います。委員会の設置要綱第4条1項により、委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定めることとされております。委員長及び副委員長が選任されるまで、私が進行を務めさせていただきます。

まずは委員長の互選をお願いいたします。委員長をどのように選任をしたらよろしいでしょうか、お伺いいたします。いかがでしょうか。

吉田委員：事務局案をお願いします。

柳原補佐：それでは、事務局でという声がありましたので、委員長には、中村委員をお願いすることにいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員：異議なし

柳原補佐：はい。異議なしということでしたので、委員長には中村委員をお願いいたします。

続きまして、副委員長の互選をお願いしたいと思います。どのようにいたしますでしょうか、お伺いいたします。

吉田委員：事務局から。

柳原補佐：はい。事務局からという声があったので、副委員長には、中嶋委員をお願いすることとさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員：異議なし

柳原補佐：ありがとうございます。それでは、中嶋委員さんに副委員長をお願い

いするということになりました。よろしく申し上げます。

それでは再任ということでございます中村委員長、中嶋副委員長よろしく申し上げます。それでは再任されましたお二人より、一言ご挨拶を頂戴したいと思います。

中村委員長よろしく申し上げます。

中村委員長：はい。こんにちは。お久しぶりでございますけれども、お陰様で3月に報告書を刊行することができまして皆様の御協力に、感謝したいと思っております。内容的にはまだまだというところがありましたけれども、一応一つの区切りとして報告書を刊行させていただいたということで、次からはですね、それを、文字ではできない部分を補って、映像記録で残したいということで、また3年という年月がかかるわけですが、この事業につきましては、私らよりもむしろ、菊池会長、吉田会長の方に大分負担がかかるのではないかと感じておりますけれども、是非いい記録ができますように、協力してやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

中嶋副委員長：皆さん、報告書の刊行の際は大変お世話になり、ありがとうございました。会長さん方、そして、お神楽の皆様、そして花巻市の皆さんに最後の最後までお世話になりまして、本当に感謝しておりました。また、新しい目的をもちまして今年度からスタートいたしますが、できる限り努力させていただきたいと思っておりますので、引き続き御協力よろしくお願ひいたします。

柳原補佐：はい、ありがとうございました。それでは協議の進行につきましては、設置要綱第4条第2項の定めにより、委員長へお願ひいたします。よろしくお願ひいたします。

(4) 報告・協議（議長：中村委員長）

中村委員長：はい。それでは、報告・協議の（1）令和2年度事業計画について事務局より説明をお願いします。

佐々木主事から説明

中村委員長：はい。今、事務局から説明がありましたが、とりあえず事業目的とか、必要性や基本的考え方については、何かご意見はございますでしょうか。

ある程度細かく撮影する部分もあるということを書いておりますので、その通り進めたいと思っておりますが、問題は（5）の年度別撮影計画ですが、今年は、石鳩岡神楽、土沢神楽の出演する祭礼、公演等の記録というふうになってはいますが、かなり予定が崩れておりますので、まず今年の部分を相談しなくてはいけないのかなと思っております。本来であれば、来年令和3年に、

同じように公演や行事記録を撮って、令和4年に補足の記録をするということで、それで、ダイジェストも含めたまとめのDVDを出すという計画でしたけれども、事務局でもお話ししているように、今年はコロナで出だしから、ちょっとまずいということで、令和2年度の段階で、計画の見直しを早急に行なわなければいけないだろうと思っております。ここが決まらないと恐らく入札もできないでしょうし、事業も進まないと思います。

石鳩岡さんのほうから、行事予定が出てきておりますけど、6月まで中止になってしまいましたので、問題は秋にできるかどうかという話をさっき会長さんとお話ししましたが、9月10月11月までの間に行事ができればいいんですけれども、恐らく、なかなか計画通りいかないのではないかと。

ということで、ちょっと事務局と話した部分があるんですけども、最初に令和2年で演目のある程度撮ってしまうと。つまり行事ではなくて、演目の収められるところから、撮ってはどうかと思います。両会長さん、どうでしょうか。行事を期待すると、なかなかうまくいかないような気がするので、例えば社務所とか、公民館、集会所とかで、ある程度の演目を5、6番組ずつ最初に記録しておくという事業を今年は計画して、その間に行事がもしできるのであれば、1つ2つの行事を入れる、という計画を立てるようなことをしないと、行事頼りではなかなか難しいと思っております。

まず行事ですと、やるとすると殆ど式舞を中心として演じることが多くなってきますので、そうすると同じようなものが繰り返し収録されることになってしまいます。ただ、両神楽さんも練習を集まってやれない状況ですので、これもまた、時期的にはなかなか決め兼ねる部分ではありますけれども、その辺、菊池会長さん、どうなんでしょうか。

菊池委員：そうですね。ある程度、演目を絞って計画を立ててやるしかないのかなと思っています。もし神社関係とかで、そういう神楽をやる機会が出てきても、大体同じような内容になってしまうんですよ。ある程度、普段あまりやらないような演目を少し選び出して、何演目か日にちを決めて…。

勿論、全部すぐできませんので、こちらも練習をよほどやらないと大変なんです。特にほとんどやってない演目は、最初から練習しなければならぬという状況も出てくるんですよね。ある程度選び出すということで、どうでしょうか、と思います。

吉田委員：同じです。

中村委員長：やはり、今年は行事よりは、普段行事であまりやらない演目とかですね。まず、行事とかで5、6演目やれば式舞が3つくらい入って、残り2つくらいしかやらない可能性もありますので、最初にある程度収録できそうな演目を練習していただいて、できそうなものを今年収録して。1年にせいぜい2回くらいしか撮れないと思うので、その間に大体、5演目ずつとか4演目ずつとかいう形で収録して、ある程度撮ってしまうということをして、翌年

から行事とかに入っていくほうが、動きができるのかなという気がするんですよ。

特に今年状況を見ますと、最初にある程度撮っていかないと、恐らく、最後にいっぱいたまってしまうと、撮り切れなくなってしまう可能性が出てくるので、それを両神楽さん次第でしょうけれども、初年度で撮りためるといふか、ある程度やれる演目を撮ってしまうと。

式舞とかは、ほとんど行事とかで撮れると思うので、式舞以外のものを中心としてやってもらうという形で収録していったらどうかなと思うんですよ。式舞の場合は恐らく、例えば前の行事で3番やったら、残り2番に鶏舞とか八幡とかを入れる形でも、収録は可能だと思います。そのような形にしていったほうが、後々日程的に詰まらなくて済むのかなと思います。日程的に詰まってくると、ちょっと動きが取れなくなる可能性があるんで、その辺を事務局さんはどう考えていますか。

平野課長：はい、全くその通りだと思っています。今月の初め頃に、各保存会さんに撮影計画の提出をお願いしたんですけども、中々いつどこで撮るといふのは今現在では書くのは難しいと思ったんですけども、全体像をまず把握しておいた方がいいと思うということで、いつ、どこでいふのを意識して欲しいなと思い、計画についてはお願いをしてみました。

今年度の計画では、神楽の演目については4回程度撮影をします。あと、習俗については2回程度ということで、6回程度、地域に出向いて行って撮るといふことで、全部で12回というふうに考えていますので、この範囲内でたくさん演目を撮っていけば、来年度、再来年度まで楽になっていくのだろうなと考えておりますので、今年できる分を頑張っって撮っていきたいなと考えております。

中村委員長：事務局も基本的には同じ考え方ですので、問題はやはり神楽の方が4回といっても、3月までの4回といふと、2か月に1回くらいですかね。という形になっていくわけですけど、本当に行事が始まったらちょっと、2か月に1回も、特に9月とか厳しいかなと思うんですけども、その辺は神楽の方々に、今できそうな演目をまず最初にピックアップしてもらって、その計画を、3回か4回に分けて、収録していくというようなことを、まず、今年度はやって、行事が復活したらその行事を撮っていく。まず2回ということですので、例えば、舞い納めとか元旦祭とか、いろいろありますので、その辺りも入れていくという形、行事のほうを2回にして、集まって演技記録といふか、踊りの記録を撮るといふことを中心として、今年度は進めるしかないですね。その方が次年度、楽ですよ。後で、行事の中に「これとこれの演目を入れてくれ」と言われるよりはいいんだと思うんですよ。撮れてないからこの演目、この演目と言われると中々入れきれないと思うので。特に祭りだからといってみんな集まれる訳ではないので、できる演目とできない

演目とが出てくると思います。まず集まれる日に、ある程度集まったメンバーでできる演目とかを組んでいただいて、まず4回はできないかもしれませんが、3、4回をそれで記録してみるという方向でいかがでしょうか。

吉田会長いかがですか。集まる時間があるかという問題がありますけど。そういう方向でしか今年は行きようがないのかなと思っています。その辺は何の演目ができますかと聞かれると、中々難しいと思います。今も集まって練習しているのですか。

菊池委員：集まることだけはしておりますが、練習はしたりしなかったり。

中村委員長：土沢さんもそうですか。

吉田委員：うちは、ほとんど集まっていないです。

中村委員長：今、こうやって何演目かって言われても難しいのかなと思いますけれども、基本的には、1回収録するとしたら4番か5番くらいできますかね。それは無理ですかね。3、4ぐらいですかね。集まるメンバーにもよるでしょうけれども、みんな集まってくればできるでしょうけれども、中々難しいですね。それでも4回ぐらいの間に、2、3番でもいいから撮っておけばある程度、数はこなせることにはなりますよね。

それから、漏れている演目は、例えば行事の中でやってもらえるところに入れてもらって、そこで収録すると。それでだめだったら最終年度には、また改めて、その残り分だけを収録させてもらうという形にしたほうが、動きがとりやすいのかなという気がします。それは、神楽さんの方で相談してもらって、集まってできそうなものということで、日程割りとかを含めて、ちょっと相談していただきたいなと思います。

それを今ここでは決められないので、とりあえず、年度別撮影計画の段階で、先ほど言いましたように、今年は集まったの収録を中心としてやって、その間に行事とかを2つぐらい撮れれば入れるということ。例えば元旦祭などは、演目というより行事ですね。回って歩いてということになりますので、演目ではないので、そういうのを撮っていくということですね。そういうふうな形でまず、2回ぐらいは撮って、2年目にはですね、行事とそれから、演目を入れてもらって撮ると。秋祭りとか。石鳩岡さんで言えば、小通の例大祭とか小山田八幡宮の例大祭とか、駒形神社の例大祭とか、そういうところに少しずつ入れてもらうような形で収録する。そして最終年度は、取りきれなかった部分の補足ということで年度別計画はそれでいかがでしょうか。もうそれしかないんですけどね。その方法が一番いいのかなと思います。

平野課長：ということはこの秋は、あちこちの神社で例大祭を今年も秋にやると思うんですけども、そこでまずやる演目を撮るくらい撮って、あとは冬になる頃には、公民館とかで撮るというイメージで進めていくと。初めから神社で祭りのときに撮れる分は撮るということですよ。

中村委員長：問題は撮れるかどうか難しいので。いわゆる秋口の行事ができ

るかどうか難しいんですけれども、もしできるのであれば、行事で撮った方がいいと思いますけれども、もしできない場合は、先ほど言いました形で撮っていくというのがやっぱり1番いいんだらうと思います。もし秋にできるのであれば、それこそ5、6演目やる会場もあるようですので、そういうところである程度撮っておけば、楽だと思います。だいたい秋祭りだと式舞を全部やったりしますんで、そこでだいたい撮れてしまうかもしれません。

あとは、恐らく舞初めとか、舞納めとかの時に、結構やると思うので、その時には収録できると思います。とりあえず、撮れる演目は撮ってしまったほうがいいのかと思います。

どうですか、中嶋委員。

中嶋副委員長：はい。2点確認なんですけれども、すべての演目を記録するのですか。

平野課長：可能な範囲でなるべく多くとは思っています、全て撮りたいという希望はございます。

中嶋副委員長：今、お話の中で把握しようと思っていたのですが、演目の収録は、イメージ的にはお客さんが全くいない中で収録するのかなと思いついていたので、そうでなく例大祭でやる演目も演目の記録として撮影するということですね。

平野課長：その通りです。

中嶋副委員長：同じように祈祷、門打ち、年中行事は習俗のほうで撮るということですね。

平野課長：そうです。

中嶋副委員長：記録の時に例えばお客さんの声が入っても、それは良しという形ですか。

平野課長：はい、そうなります。

中嶋副委員長：わかりました。

中村委員長：ありがとうございます。神楽の方々に、記録して掛け声とかが入っていても大丈夫ですか。いいですかね。

菊池委員：入っていたほうがいいですね。

中村委員長：前に早池峰神楽で昭和54年くらいに記録した時には、公民館みたいなところでずっと撮ったので、客の声とかが一切入っていないビデオだったんです。その時は行事は全く入っていないので、ただの記録だったんですけれども、そういう形で声が入ったほうがいいのかということですよ。それも記録でしょうから、もし間違えて踊ったときは、次の行事の時にきちんと撮って。昔、早池峰神楽の時は一旦止めてビデオを一回巻き戻してそこから同じ形をとりながら撮影したので、変に切れたりして不思議な記録になってますけれども、同じものやっても違うものが撮れると思うので、見てもらっていい方を撮るという形もできると思います。正しいほうを記録に残

すということをやったらいいのかなと思います。おそらく間違ったりもすると思うので、その辺含めてやればいいのかなと思います。

それでは計画につきましては、そういう形であれば事務局さんと会長さんとかで協議して頂いて、日程とか演目とかを詰めてもらいたい。ここで決めるのではなくて、時間をおいて見てもらうということでもいいのかなと思います。

この間、吉田調査官がいらしたときもですね、記録はまとめて最後に出すんじゃないのかという話を言われてましたけど、これだと単年度、単年度で出すことなんですよね。結局、その年に撮ったものをですね。そうすると、バラバラになりそうな感じがするんですが、ほかのビデオの時も言ったのですが、最後の年に編集して一本にするのが普通のようにですけど、これだと撮ったものを全部DVDにしてしまう。最終年度には40分ダイジェストだけということになるんでしょうかね。通しのやつは。

平野課長：そういう事になりますね。令和2年度3年度、4年度の追加といった部分については、全てを収録したものは、ハードディスクに入れてもらって納品になりますが、その中でもある程度の編集が必要になってくると思うのですが、その年度に撮ったものはDVDに入れて、毎年毎年納品になるということです。ただ前回の委員会の際に、毎年違う会社が入ってくれば撮り方も違って来るし、編集の仕方も違って来るのではないかという意見がありました。それで、同じ会社に随意契約できないのかという意見がございました。これについても検討中ですが、今年度は指名競争入札で行います。そして業者が決まります。そして来年度以降については、映像の撮り方とか、編集の仕方も変わってくると、同じような成果品でも違うイメージになったりする可能性があると思いますので、来年度以降については、今年落札した業者に、随意契約で仕事をお願いしていきたいと考えております。

中村委員長：ちょっと気になったのは、例えば演目ごとに分けて、1本ずつあれば調べやすいんでしょうけども、その年に撮った演目だと、バラバラにあるわけですね。ちょっと調べたいなというときに、バラバラに出てくると、年度ごとにいろんなものがいろんなところに演目が入っていると使いにくいような、やりにくいような気がします。例えば1本ごとに、すっとわかるような編集をするとか、うまく作らないと、その中からこの演目を出したいというときに、すっと出てこなくて使いにくくなるのかなということがありますので、その辺、ちょっと考えていただきたいですね。できれば、鶏舞をすぐ出したいというときにすぐに出せるようにしたい。何年度のどこに入っているのかわからないところで検索するとなると難しくなってくるので。

平野課長：今年と来年は、収録データを全て保存したハードディスクだけを納品してもらおうと。最終年度にはハードディスクが3つありますので、その中からDVDにするときには、今、委員長がおっしゃったような編集をすれば

いいということですよ。

中村委員長：そういう風にしたほうが後々、使いやすいのかなと思います。記録は記録としていいんですけども、例えば、演目ごとにきちんと並んでたりすると後で調べやすかったり、検索する人もやりやすいだろうというふうに思いますので、入札の時から考えていただいて、最終年度にきちんと演目が並ぶような形にさせていただくと非常に使いやすいのかなと思います。ダイジェストはダイジェストでまた別でしょうから、演目が中心でしょうから、1年通してになるか編集がどうなるかわかりませんが、演目ごとののはちゃんとやったほうがいいような気がします。

平野課長：はい。そのようにします。

中村委員長：そういうことで、神楽の会長さんたちはそのほうが調べやすいですよ。何演目を、どこの行事の何番目から探してくれと言われると、中々しんどいと思いますので、整理して編集してあれば、さっとそこだけ見れますしね。

菊池委員：演目で区切ってもらって。

中村委員長：調べれるように演目ごとに区切ってもらえれば、使いやすいのかなという気はします。

中嶋副委員長：私も同感で、さっき例大祭も演目の記録として撮るのですかと伺ったのは、演目ごとに区切らないと、どこに何が入っているかがわからないということがあります。自分もよく経験するので。さっき、お客さんの声が入ったほうがいいということはいいとして、誰が見るか考えた時に、一つは一般の方々の普及版として、もう一つは10年、15年先に神楽の方々が見るかもしれないということですね。昔、どう踊っていたかというのを必ず確認する日が来るのだと思います。あと一つは研究者の人たちなんですよ。研究者とはプロの人たちだけではなくて、学生さんが卒論を扱うときに見たりすることが必ずあると思います。特にこちらの両神楽は人気のある神楽なので、きっとそういう人たちの目に触れることがあると思うので、演目を記録するという視点に立って、きちっと撮ったほうがいいと思うんです。最初で最後のチャンスかもしれないのでお願いしたいのと、委員長がおっしゃったとおり、チャプターで区切って、見たいものをすぐに引き出せるようなDVDの作り方、それに慣れてる業者さんという事になると思います。

会長さん方をお願いしたいのは、きっと3つ4つくらいの視点で見る方々が将来的にいるとなったときに、さっき全部の演目ですかと伺ったのがそこで、できれば全部がいいなと思うのですが、ある程度、この演目をやるということを出していただいていたほうがいいのではないかと思います。3年間なら3年を通して、うちではこの演目を出すというのを、ある程度出していたほうがいいが、今日はこれを行っているからこれを撮ろうではなくて、その中で大事な演目というのが両神楽さんで見えてくると思いますので、そして、

それが得意な方、撮影にあたって、どなたに演じていただくのかというのも十分考慮の上で配置していただきたいというのが私の希望です。

中村委員長：全くその通りだと思います。その辺のことは先ほども言いましたが、事務局さんと会長さん方で相談していただいて、演目、日程等を詰めていただいて、なるべくきちっとした形で撮ったほうがいいと思います。行事で撮ると、失敗すると中々できませんけれど、集会所とか社務所でやれば撮り直しはできますので、その辺は考えたほうがいいかなとは思っています。昔だとテープがもったいないとかと言っていました、今だと関係なく最初から撮れるわけですから、きちっとした形で残したいなど。そういうところで収録して、別で行事で盛り上がっているところも一つくらい入っててもいいかなと思います。その辺は相談しながらということで、やっていったらいいのかなと思います。できれば全演目とは言いませんけど、今まであまりやっていなかった演目もそれを含めて練習していただいて、3か年の間には、ぜひ収録していただいて、後世に残すということをやっていただきたいという風に思いますので、よろしく願います。

平野課長：ということは全体像を知りたいような気もするんですが、例えば石鳩岡神楽さんでは、この演目については頑張ってくださいとか、土沢神楽さんではこれやりますとか、全体像は示せるものですか。中々難しいかもしれませんが。いつ撮るかまではいいんですけど、これやりたいなとか、撮りたいなというのを、あらかじめ教えてもらえるといいなと思っております。

菊池委員：そうしないと撮れないでしょうからね。ある程度、計画を1回立ててみてその通りいかななくても…。

平野課長：少なくとも年度ごとに、令和2年3年4年度に、今年度は何を撮ろうかなというのがわかれば、なんとなく安心するなど。

中村委員長：初年度に12～13、14演目くらい撮っておけば、あとはずいぶん楽になりますよね。1回3演目でも4演目でも撮っておけば、残り2年が楽なんだろうけど。初年度に撮ったものを撮り直したいなとなったとき、2年度で撮り直しができると思います。

平野課長：最終年度の令和4年度は撮れる演目÷3ではなく、撮れる演目÷2.5くらいにもって行って、そうでないと、あとで編集の時間もありますので。

中村委員長：さっきの話は令和2年度に撮れなかったのは、令和3年度に撮ればいいといいふうな話でして、最終年度の撮り残しはごく何番かにしてやらないと、あとが詰まってしまって編集ができなくなってしまう可能性がありますので。その辺ですね、資料の後ろのほうに演目を書いていたので、チェックしていただいて、できそうなものを書いていただいて事務局に出していただくということで調整するということがいかがでしょうか。

漏れている演目があるかもしれませんが、この中でチェックしていただいて、今年度できそうなものに印を付けてもらって、それを何分割かに分けて

もらって、得意なメンバーがいるときに一気に撮るとか、休みを入れて撮ってもらう形で、中々全員集まることもできないでしょうし、今年度できそうな演目をピックアップしていただいて、それを事務局と相談して年度毎に分けて収録するという方向でどうでしょうか。それで進めていただければというふうに思います。出来れば数を撮りたいので。

平野課長：実際これから入札をするんですけども、多分、今の感じだと入札は6月の中旬以降だと思います。ですので、実際に撮るのは7月に入ってからということになるのかなと思っております。

中村委員長：リストに56演目書いてあるけど、ここまでは無理でしょうから。

平野課長：習俗のほうで元旦祭とか日程が決まっているものはいいのですが、定例でないもの、例えば新築祝いとか年祝いとか結婚披露宴とか、この辺りは行き当たりばったりの感じなのですが、可能であれば、神楽さんが出演する機会がありましたら、教えていただけたら、是非収録に行きたいなと思っております。

中村委員長：それでは、今演目を出すのは難しいと思いますので、後で今年収録できそうな演目をできるだけ多く出してもらって、数回に分けて収録をすると。あと行事のほうは、状況を見ながらとしか言えないですけども、秋口とか正月あたりとか、暮れとか正月の行事を入れていくということで、できるだけ欲張って撮れるのは撮っておいたほうがいいのかと思っています。

あと、他にDVDに収めたほうがいいもので思い付くものはありますか。年祝いとか結婚式は入れるとして…そういうものですかね。例えば、誰かが練習を習いに来るとか。

平野課長：たぶん、そういったものも入ってくるといいと思います。

中村委員長：昔だと結構いろんな人が来ていましたね。そういう情報もあれば事務局のほうに入れてもらえれば。例えば、東京から学生さんが習いに来るとかそういうのも入れておいたほうが、面白いかなと。

中嶋副委員長：普及版だと、舞以外の、例えば古い権現さんとか残されている古い持ち物が入ったりしているものもあります。参考までに。

中村委員長：それは十分可能だと思います。例えば、お面を全部並べて撮っていくとか、衣装とか、報告書にあったような古いものがあれば一緒に映像の中に収めていけば、写真とは違う情報として残ると思うので、相談しながら進めていけばよいと思います。行事の段階で撮れるものは撮ったほうが良いと思うし、または改めて撮り直してもいいと思います。社務所で土沢さんは撮れると思うので、撮影の時に一緒に収めていけばいいでしょうから、その辺は相談して進めてもらえればいいと思います。

平野課長：一番直近でありそうな、出演する祭りはいつ頃ありそうですか。

菊池委員：予想がつかないですね。コロナ次第です。みちのく神楽大会までは

中止が決定していますので。

中村委員長：鑛川神社さんなんかはやるのですか。

吉田委員：わからないですけど、ただ盛岡八幡宮が神事以外のお通りとか八幡下りとか、全て中止のようなので、それにならう可能性が高いです。地元のは2、3番でも神楽を奉納したいなと思っているんですが、それ以外はちょっと…。

中村委員長：津島神社の宮司さんが「おらほでやるから」と言っていました、本当にやるかは7月だからわからないですけど。

菊池委員：石鳩岡の場合は、可能性があるの一番近いのは、津島神社ですね。

平野課長：日にちは決まってないんですか。

菊池委員：それは決まってないですよ。旧暦の6月15日なんですけど、昔は旧暦ぴったりでやっていましたが、最近はその近くの日曜日になってるんです。ここ2、3年はそうなっています。

中村委員長：その辺の情報が入りましたらということになるでしょうけど、7月に入札して直ぐなので難しいかもしれませんね。8月くらいでないと動けないかもしれませんね。

その他決めること、協議することはありますか。

平野課長：あとは撮影計画とといいますか、横書きの資料の、どれができるかというのを作っていただいてから、委員長さんともお話をしながらということになるのかなと思います。まずできるものに印を付けていただきたい。

中村委員長：それでは1度、神楽の方々に相談していただいて、今年度できるだけ撮ってしまいというのもありますので、中々難しい演目とかもあると思いますけれども、できるだけご協力いただいて収録すると。あとは、それを回数で割るとかということ今年度は進めていきたいと思っています。

6月中にこの表に、3年間に撮れる演目はどれなのかということ、今年度どれを撮るか、この2つがわかるように印を付けて、事務局のほうに提出していただくと助かります。

資料に56演目がついていますけれども、できるものと今やってないのがあると思うので、できるものと、今年度収録できそうなものと、2つ出していただいて、それを相談しながらやっていくということで今年度は進めていきたいと思っています。ご協力お願いします。

吉田委員：そうすると、1回あたりの撮影時間はどれくらいを見ればいいのか。

平野課長：仕様書の中では3時間程度となっております。演目を次々やるのではなく、休憩もありますよね。

中村委員長：3時間あれば、たくさん演目をやれるけど、全体を見ての3時間でしょうから、休憩も含みの3時間ですね。

菊池委員：収録にかかる時間ということですね。

伊藤係長：半日というイメージですね。

中村委員長：午前中9時から12時とか、そういうことでしょうかから、できない場合には5時間とか。休まないと踊れないでしょうから。行事ではないので少し休んでいただいて、次の踊れる人が来るまで少し待つとか、全員が集まるのが無理でしたら時間を少しずらしてできるのであれば、遅れてもその演目だけ参加してもらおうとか、撮りようがあると思うので、時間を決めてその間でやったらいいのではないのでしょうか。

吉田委員：全体としてうちの神楽のほうが、石鳩岡さんより1演目ごとの時間が少し長いので、時間がかかる。

平野課長：そこはあまり気にしないでいただいて大丈夫です。

中村委員長：デジタルなので、昔と違ってテープの取り直しと違うので大丈夫だと思います。

事業計画についてはよろしいですか。

(5) その他

中村委員長：その他、何かありますか。

平野課長：その他は特に準備していません。

資料2については、今の話を踏まえての業務委託の仕様書なので特段に協議しなくて大丈夫です。

菊池委員：一つだけ。今回全く新しく演目を撮るというイメージに聞こえるんですが、今まで収録されたビデオがいっぱいあるんですが、その活用は考えていないんですか。

平野課長：今回のこの事業では、以前撮りためた映像を今回入れ込むということは考えておりません。新しく全部撮るということです。今現在の、石鳩岡神楽さん、土沢神楽さんの姿を撮るというイメージです。

中村委員長：昔のほうがいいというのもあるんでしょうけど、それを取り込むとすると、映像会社が違ったりすると著作権が発生して、その中に入れられないんじゃないかなと思います。同じ業者さんが落札した場合は、相談してやることはできるかもしれませんが。違う業者さんが撮ったのを編集できるかというところと中々難しいところがあるかもしれません。

菊池委員：1点だけ。例えば個人で撮ってくれる人もいっぱいいて、いただいている映像もあるんですが、その業者さんに編集してもらえば、新しく撮る演目が減ることは減るんですが…。

中村委員長：最終手段としてそれはあり得ると思います。撮り損ねたりしたときはそういうのを活用するのはありだと思いますが、基本的には今の人たちの、今の踊りを記録して、もし撮り切れないものがあつたときは、著作権がかからないものであればそれを取り込んで1本にしてもらおうのは可能だと思うので、その辺は年度を追いながら考えていけばいいのかなと思います。

(6) その他（特になし）

(7) 閉会（柳原課長補佐）